

生命いのちの言葉 平成二十九年三月

うそ云ふな ものほしがるな  
からだだだわるな

橘曙覧  
たちばな あけみ

裏面もご覧ください。

生命いのちの言葉  
三月

橘曙覧が伊勢神宮に詣でた折、  
五十鈴川の水を汲み帰り、  
これを墨にすつて書き残したという  
「家訓」の一節。  
嘘を言ふな、  
物を欲しがらな、  
身体を怠けさせらな。

橘 曙覧 (たちばな あけみ)  
文化九年(八二〇)慶応四年(八六八)。  
越前国の商家の長男として生まれる。本居宣長の  
門人・田中大秀に入門し神道・国学を学び歌を  
詩作した。後に正岡子規は、源実朝以後、歌人の  
名に値するものは橘曙覧ただ一人と絶賛した。

今月の祝日

【春分の日(二十日)】生命の息吹を感じる季節です。自然の美しさをたたえ、すべての生き物を大切にしましょう。

東京都神社庁

<http://www.tokyo-jinjacho.or.jp/>



神社は心のふるさと  
未来に受け継ごう  
「美しい国ぶり」